

第4回 企業部会幹事会

2019年3月20日(水) 14:00～ ホテルニューオータニ「アーチェロ (ACERO)」

第4回「企業部会幹事会」が開催され、業界団体会員を中心とする企業部会幹事メンバーと、代表者出席が叶った役員企業会員有志で、今期の重点課題等について議論が行われました。



Check Point

企業部会幹事会とは

一企業や一業界の枠組みを超え、国民的な課題に対して真に議論し、この国をよくしていくという趣旨のもと設立された会です。生団連内の議論を深める場として、消費者部会とも連携を図りながら、今後も継続開催される予定です。



▲「[生団連災害情報ネットワーク]の構築に向けて」に関連し、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンの竹中奈津子様より、「平成30年度7月豪雨」での支援についてご報告いただきました。

【議事内容】(意見一部抜粋)

■ 議題1・・・2019年度活動計画について

①「国家財政の見える化」の実現に向けて

「見える化」の実現に向けて具体的に取り組みを進めていくべき

何をどう変えてほしいのか、具体的に伝えていかないと変わらない。「見える化」の実現に向けて、取り組んでいきたい

②「生活者としての外国人」の受入れ体制の構築について

「地域社会の一員として外国人を受入れる」

外国人を地域のコミュニティの一員として認めることが必要。語学教育はもちろん、地域コミュニティのルールを伝えていく等の取り組みが必要だと思う

③「エネルギー・原発問題」の国民的議論に向けて

「エネルギー問題を需要面から捉える」

エネルギーについて、今まで世の中で語られてきたことは、供給面の視点ばかりエネルギー問題を需要面からみること大切

「各ソリューションをミックスさせて考える」

節電、スマートシティ、送配電といったことをミックスで考えていかなければならない核廃棄物の処理をどうするのかと合わせて、検討していかなければならない一つの観点ではなく、全体でソリューションを考えていくべき問題

④「生団連災害情報ネットワーク」の構築に向けて

「より詳細な支援物資リストの作成と、行政を巻き込んだネットワークづくりを」

各地域にある生団連会員の店舗等、生団連としての災害支援拠点を考え、その場所の行政とのつながりもつくっていくべき。発災時にきちんと人が動くネットワークを考えていかなければならない



■ 議題2・・・企業部会・消費者部会の定款化について 他